

グローバル化社会における

伝統知と

古典教育の

意義を探る

公開シンポジウム

平成25年11月23日(土)

13:00 ~ 17:30

場所 中村元記念館

島根県松江市八束町波入2060番地(松江市役所八束支所2階)

プログラム

総合司会 吉水 千鶴子(日本学術会議連携会員、筑波大学教授)

挨拶 丸井 浩(日本学術会議会員、東京大学教授)

報告 「東アジア世界の相互理解に古典は役に立つか—『論語』の場合—

土田 健次郎(日本学術会議連携会員、早稲田大学教授)

「古典教育のなかの記紀」

小島 毅(日本学術会議連携会員、東京大学教授)

「公共哲学から伝統知を考える」

小松 優香(筑波大学准教授)

「グローバル社会と哲学・古典—国家公務員試験改革—」

葛西 康徳(日本学術会議連携会員、東京大学教授)

コメント 谷川 多佳子(日本学術会議連携会員、筑波大学名誉教授)

石崎 嘉彦(摂南大学教授)

一般公開
入場無料

総括討論

司会 手島 勲矢(日本学術会議連携会員、関西大学非常勤講師)

討論者 高木 紳元(高野山大学名誉教授、東方学院松江校講師)

ほか登壇者を含む数名

閉会挨拶 佐々木 一憲(公益財団法人中村元東方研究所専任研究員)

清水谷 善圭(NPO 法人中村元記念館東洋思想文化研究所理事長)

主催：日本学術会議 哲学委員会 古典精神と未来社会分科会

共催：科学研究費補助金基盤研究(A)「インドの共生思想の総合的研究」

後援：NPO 法人 中村元記念館東洋思想文化研究所

問合せ先：NPO 法人 中村元記念館東洋思想文化研究所

電話 0852-76-9593 メール info@nakamura-hajime-memorialhall.or.jp